

【 元気堂 】(第323号 2009.10.23)

今日は、本州付近は高気圧に覆われますが、関東甲信地方は昼過ぎにかけて上空の弱い気圧の谷が通過する見込みです。

このため、関東地方南部は曇りのち晴れ、関東地方北部と甲信地方は概ね晴れるでしょう。

明日も、本州付近は高気圧に覆われる見込みです。

このため、関東甲信地方は晴れで夕方から次第に曇るでしょう。

【 土日のお天気 】

	24日(Sat)		25日(Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌		14/ 8		15/ 7
秋田		19/ 10		21/ 8
仙台		20/ 10	//	19/ 11
宇都宮		21/ 10		19/ 10
東京		21/ 15		20/ 15
横浜	//	20/ 15		20/ 14
長野		19/ 9	//	19/ 8
静岡		22/ 15		22/ 15
名古屋	//	23/ 13		24/ 13
新潟		19/ 9		21/ 12
金沢		22/ 13		22/ 14
大阪		24/ 15		23/ 16
神戸		24/ 16		23/ 17
広島		24/ 13		23/ 13
松江		22/ 11		23/ 13
高松		23/ 13		23/ 15
高知		24/ 15		24/ 16
福岡		24/ 15	//	24/ 16
鹿児島	//	24/ 19	/	25/ 19
那覇	//	26/ 23	/	27/ 23

(:晴れ, :くもり, :雨, *:雪 :のち, // :時々, / :一時)

【 お天気モード 】

「 **ため池老朽化で豪雨に決壊のピンチ** 」 2009年10月20日の日記より

関東農政局のまとめによれば、関東地方(1都6県)には、約480か所のため池があり、そのうち約130か所が緊急に整備を必要とする状態であることが分かりました。

【 関東地方のため池の現状 】

1. 同地方には約480か所のため池がある。2006年度の調査では、緊急修理が必要な利用面積の大きなため池が160か所。現在までに、30か所で修理が進んだ。

2. 90か所では防災情報連絡体制の整備やハザードマップの作成など、ソフト面での対策が取られている。これは、農水省が07年度に策定した「土地改良計画」にソフト面での対策を盛り込んだのを受けた対応。

【 各県や国の事例など 】

1. 千葉県

07年、ため池の防災・減災を目的とした農水省の「ため池対策パイロット市町村登録制度」に、南房総市の受益面積30ヘクタールの芳賀堰を登録し、緊急連絡先とハザードマップを整備した。

今後、周辺住民にハザードマップや連絡網の周知を徹底していく。ほかの地区でも同様の対策を進める。

2. 群馬県

独自の取り組みとして、08年、農業用ため池の危機管理対策マニュアルを作成し、関係市町村に配布。緊急時の安全対策に注意を促す。

09年度には、改修工事を予定していた藤岡市の市営公園内にある受益面積7ヘクタールの「ひょうたん池」に市と協力してハザードマップを作り、緊急連絡体制を整備した。

ため池を管理する同市の山間水利組合の黒澤組合長の話)

ハザードマップを作成する話があるまで、ため池に危険性があるとは知らなかった。点検をきちんとして、ため池を大切に守っていきたい。

3. 農水省

今年度から始めた新規事業「地域ため池総合整備事業」では、都県が、ため池の修理というハード面とソフト面の対策の両方を取れるようになった。

農政局防災課は「防災・減災の観点から、まず緊急時の情報連絡体制を整備することが大切だ」と強調する。

(農業新聞10月20日 より編集)

【 感想 】

ハツ場ダムの事業遂行で国と関係県知事等の意見が分かれています。地方や推進派の意見はもっともな点も無きにしもあらずだが、本来の必要性や意義についての大所高所の議論になっていない。受益者の権利や主張が声高く叫ばれているクライがあり、事業推進の難しさや影響力の大きさばかり報道されている。

さて、ダムにばかり目が向いている場合ではないという、ため池の実態が明らかにされました。ため池は住民のすぐそばに存在し、ダム以上にゲリラ豪雨や集中豪雨の影響をストレートに受けます。農業被害も甚大でしょう。自給率を50%にアップするという国の方針実行のためには、その有用性が定かでないダムよりも緊急を要する事業です。

行間から感じられるのは、ソフト面で最も整備されなくてはならないのは、簡便で安全な情報伝達のシステムにあると思われまます。

【 e健康生活 】

「 [武士道を読んで](#) 」 2009年10月14日の日記

[武士道\(新渡戸稲造著、奈良本辰也訳・解説\)](#)を1回目読み終わりました。

この「武士道」は、1899年12月に英語で書かれたということに、改めて、著者及び明治維新を生き抜いてきた文化人たちの、語りつくせない語学力と博識及び心に秘めた思いの強さを感じます。

今から、110年前に外国語で書かれたために、現代の我々日本人には及びもつかない、故国日本に対する透徹した思想がこめられています。当時の先進諸国に対して、堂々と日本人とは何なのかを伝えるためには、英語がベストであり、ほぼ完璧に英語を操ることができていた。それは、日常会話を不自由なく話せるレベルを超え、当時の文化人や哲学者とも、英語で議論できることを示しています。

さて、奈良本さんの訳・解説もとても格調高い名文です。解説のほぼ、最後に書かれている箇所が、強く胸に響きます。

以下、そのまま、転載します。

イデオロギーの面から見れば、仏教と儒教は、根本的な対立を持っている。それは、一方が彼岸の世界に真実を見ているのに対して、一方は此岸の世界にこそ絶対者があるというのだ。だから、それは改めて言うまでもないことなのだが、両立しないイデオロギーだと言いたい。

武士道が、単なる思想として伝えられてきたものではないことを照明する一つの事実であるう。

本日記に、トルコの大学に留学している学生から、コメントいただきました。剣道に励んでいるそうです。

トルコは親日国家で、1890年9月16日にトルコの木造軍艦「[エルトゥールル号](#)」が和歌山県串本沖で遭難した際に、地元の漁師などが村総出で救助活動しました。その恩返しに、1985年3月に勃発したイラ

ラン・イラク戦争のあおりで、窮地に陥っていた日本人家族全員に救援機2機をテヘラン空港に送り、日本人215人全員を救出してくれました。

トルコは歴史教科書で「エ号」の遭難時に際して、献身的な救助活動を今も伝えているそうです。このことをまとめたものが、協同組合通信に掲載されたエッセイ「[トルコ人の恩返し](#)」です。詳細は、下記をご覧ください。

http://www.wis-x.co.jp/essay/kyodo_kumiai_tsushin20021125.PDF

そして、新渡戸稲造は我が北大のOBです。素晴らしい先輩に改めて感謝しています。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気！ *****

[世界初 「ソリューションする気象会社」](#)

防災メールなら [地震番](#)

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

[トータル節水システム](#) ([経費節減効果NO1](#))

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に [「馬場コンディション情報」](#)

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ [「ミスター防災」](#)

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 [「直売所NOW」](#)

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 [「ウェザー&ビューティ」](#)

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
